

言語文化教育研究学会 入会案内

■言語文化教育研究学会は、会員を募集しています。

入会方法 : 1.入会申込書 [<http://alce.jp/intro.html>よりダウンロード]に必要事項を記入の上、
入会申し込み専用アドレス (nyukai@alce.jp)までメールでお申し込みください。
2.初年度の年会費の納入をお願いします。

入会方法詳細 : <http://alce.jp/intro.html>

年会費 : 3,000 円(一般会員), 10,000円(維持会員)

お問い合わせ : contact@alce.jp (言語文化教育研究学会事務局)

【学会の目的】

言語文化教育研究学会の前身である言語文化教育研究会は、ことばと文化の教育とは何か、ことばと文化の教育を研究するとはどういうことかを広く議論するために2004年に設立されました。言語文化教育研究学会は、多領域にわたり、また、教育現場に根差した議論を積み重ね、ことばと文化の教育の実践＝研究の充実に寄与することをめざします。

1.ことばと文化に関する最先端の研究の推進

20世紀からはじまる「言語論的転回」さらには「物語論的転回」を経て、ことばは世界を認識し、世界に関わるための最重要概念となりました。このことばをどのように捉え、どのようにその教育を実践し、研究するのか。その意味は刻一刻と変化しています。言語文化教育研究学会では、このような変化に敏感な萌芽的な研究を積極的に支えていきます。

2.対話の場の創設

日本語教育、国語教育、英語教育、フランス語教育、異文化間教育など、ことばと文化の教育に関わる領域を横断的に交流し、多様な声が響き合い、新しいものを生み出す、自由で開かれた対話の場の創設をめざします。

3.共同研究のための連携

教育実践を理解し、よりよいものにするためには、複眼的な視点、多領域にわたる知見が求められます。学際的な協働、研究者と教育現場との協働など多様な形での共同研究を推進するための連携を図っていきます。

4.実践研究の推進

実践研究を「実践への参加者たちが協働で批判的省察を行い、その実践を社会的によりよいものにしていくための『実践＝研究』」と定義し、多様なプロジェクトを立ち上げ、展開します。

【学会の活動】

学会では、その目的へ向けた活動として、以下の6つの取り組みを行っています。

1. 雑誌『言語文化教育研究』の発行

『言語文化教育研究』を発行しています。「論文」カテゴリにおいて先進的な研究を積極的に掲載すると同時に「フォーラム」カテゴリにおいて、ユニークなアイデアや実践の共有を推進すべく多様な形式の表現を掲載します。

2. 年次大会の開催

年次大会は年1回、開催します。大会のシンポジウムは、雑誌『言語文化教育研究』の特集と連動し、より深い議論の展開をめざします。

3. 研究集会の開催

研究集会は、各地方の大学を中心に開催します。研究集会は、主催校の自由裁量で、地域性を活かした形で企画されます。また、学際的な連携や協働を視野に、他研究会との合同開催も行います。

4. 月例会の開催

萌芽的な研究について、ゼミ形式で議論をする場として月例会を開催します。ここでは、大学院生の修士・博士論文研究、新規で立ち上げる研究プロジェクト、書評会など、多様な企画を少人数で行います。

5. 他研究会との連携

研究集会の合同開催やホームページ上におけるリンクなど多様な形態で他研究会との連携を推進します。問題意識を共有する研究会の成果発表、議論の場として、年次大会や雑誌が活用されることをめざします。

6. 各種プロジェクト

外部資金獲得も視野にいれつつ、領域横断的な研究体制構築のプラットフォームとなることを目指します。

*入会手続き完了が確認され次第、事務局よりご連絡差し上げます。万一、2週間以上事務局から連絡のない場合は、contact@alce.jp (言語文化教育研究学会事務局)までお問い合わせください。